



日野療護園
フォーシーズンズ

東京都
社会福祉
事業団



Four Seasons

No.83

2019年3月2日 冬号

発行／編集：日野療護園 〒191-0034 日野市落川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E mail hinoryo@hinoryo.org HP <http://www.hinoryo.org>

新年イベント『人文字』

1月4日に新春イベントとして、人文字を実施しました。今年も多くの利用者様と職員の参加・協力のおかげで、無事にイベントを成功させることができました。

今年も昨年に引き続き、干支の文字を作成しました。「亥」という文字で、これがまた中々バランスが難しく・・・しかし、参加して下さった利用者様には笑顔も見られ、楽しんで頂けたように感じましたので、それがなにより良かったと思います。

来年以降も皆様のご協力のもと、より完成度の高い人文字の作成を目指し、伝統行事になれば面白いと思いました。(記・鈴木奈)



今年も日野療護園を宜しくお願い致します。

スキルアップ研修『接客研修』



1月18日(金)に平成30年度第二回スキルアップ研修を行いました。今回の研修テーマは『接客研修』という事で、メディカルネットワークの平野裕子講師にお願いしました。研修を通じて、『100-1は99ではなく0である。最低限度の接客スキルを職員の一人でもできていなければ、園全体の評価が0になってしまう』と大変参考になる言葉を頂きました。

この研修を活かし、さらなる利用者サービスの向上と、地域から選ばれる施設に成長していきたいと思っています。今年度のスキルアップ研修はこれで終了になります。来年度も引き続き開催していきますので宜しくお願いします。(記・植木)

せつぶん 節分イベント

「節分」は毎年2月3日に行われる行事ですが、これは春の始まり「立春」の前日となっています。園でも豆まきイベントを2月4日に行いました。鬼のイラストをペットボトルに貼りミニタオルで作ったボールを豆に見立て鬼を倒すゲームイベントです。たくさんの利用者様の参加で大いに盛り上がりしました。鬼のお面を被った職員とお正月のイベントで出番をなくした獅子舞も一緒に写真を撮り大盛況な節分となりました。（記：榎本）



めいせいだいがくどうこうかい 明星大学同好会プラネタリウム



1月24日、園のご近所である明星大学の天文愛好会「すばる」の皆さんに来園していただき、プラネタリウムを上映しました。園のホールに直径2メートルになる球体の白いバルーンを設置し、そこに映像を映し出すものでした。普段なかなか目にする事のない珍しく美しい映像はとても印象に残りました。学生の皆さんとの交流も楽しく新鮮で、気が遠くなるほど長い長い宇宙の時の流れの中で、一瞬の光の瞬きのような自分たちが今ここでこうして共にいることの不思議を思い知らせる一時となりました。また6月にも来園していただく予定となっています。（記：近藤）



平成最後のボランティア感謝祭&クリスマス会



12月25日、日野療護園の日中活動等を支えていただいているボランティアさんへの感謝の意を込めて、ボランティア感謝祭とクリスマス会を、平成最後と銘うって開催しました。

まず、山中園長の開催宣言からクリスマス会はスタートしていきます。トップバッターは柴田純一 職員のギター生演奏によるクリスマスソングの合唱から、25日クリスマス当日の開催も相まってクリスマスソングが園内を包み込み雰囲気は早くも最高潮～。合唱が終わると感謝祭に戻りまして、ボランティアさんへ感謝状を贈呈させていただきました。感謝状が贈呈される時には盛大な拍手が湧き上がりました。

感謝状授与が終わると、お待ちかねのケーキとお茶の時間となりました。栄養士さんが中心となり作りあげた2種類のケーキは、あっという間に皆様の胃袋の中に吸い込まれました。見た目に可愛く、大変おいしいケーキでした。ごちそうさま～

お腹も満たされたところで、今年はキャンドルサービスを行ってみました。事業推進グループ職員が各テーブルを回りろうそくの火を灯していく。この幻想的な雰囲気の中でボランティアさんのハーモニカ演奏が始まり、皆全員のクリスマスソング合唱、会場に響き渡るハーモニカの懐かし音色…。とても素晴らしい演奏の時間でした。

暗闇から一転電気が付くと、ガールズサンタの登場となり、園から利用者様へのプレゼントのお渡しタイム…もちろん会に参加出来なかった利用者様には、サンタが各居室を訪問して最後までプレゼントを配り回っております。

平成最後のボランティア感謝祭・クリスマス会もフィナーレに、師岡部門長が挨拶をして、閉会となりました。

普段からボランティアさんとの交流が深い事業推進グループの職員が中心となり、クリスマス会と感謝祭をうまく融合させ、盛大な会になり、ボランティアさん・利用者様の笑顔がたくさん見受けられことは大成功！といっ

て良いのではないのでしょうか。

また来年もボランティアさん・利用者様が楽しめる会に出来ればと思います。（記：村上）

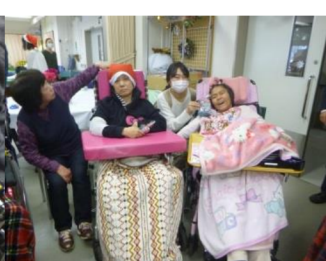
感謝状授与式



利用者様・参加者様・職員との会食



感謝状授与式後に記念撮影

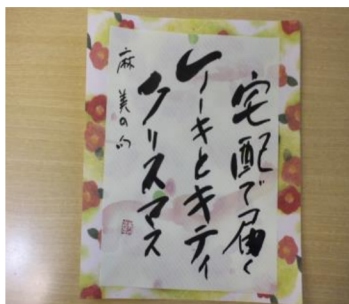




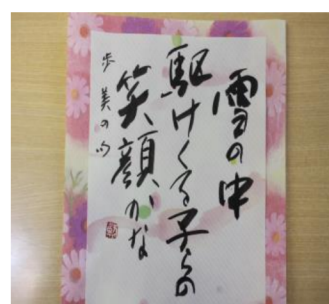
俳句 (木の実の会)



何もせぬ
姉と二人の
お正月
るりの句



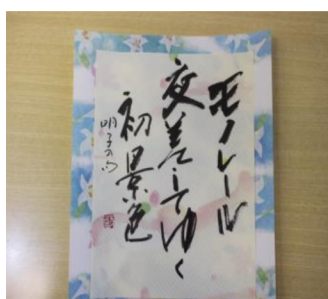
宅配で届く
ケーキとキティ
クリスマス
麻美の句



雪の中
駆けてくる子らの
笑顔かな
歩美の句



平成の余白に
たのしみ
日記買ふ
八枝子の句



モノレール
交差してゆく
初景色
明子の句



駅伝の
たすきの重み
初山河
洋子の句



大きくさめ
膝より猫の
跳び出せる
紀美の句



のびのびと
変わらぬ嫁の
春着かな
美智子の句

へん
編

しゅう
集

こう
後

き
記

暦の上だけではなく、感覚（実感&体感etc…）としても春を感じる季節となりました…
季節の変わり目を感じる五感や感性（もちろん暖かいとか寒いとかだけではなく、日常の中に数え切れない
ほどある、ちょっとした違いに気づく五感や感性）と…私たちが、日々の利用者様の支援の中で感じる、利用者
様のちょっとした変化や違いに気づく感性…通ずるものがあると思っています。
何にしても、感性は磨くものですから…どんどん磨いて、豊かにしていきたいです。（記：山中）